

資料配付場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
(その他配付場所はP4参照)

平成25年10月10日同時配布

平成25年10月10日

国土交通省
国土技術政策総合研究所

第11回環境研究シンポジウム 水圏・海洋を巡る環境研究の最前線 の開催について（お知らせ）

環境研究を行う国立、独立行政法人及び国立大学法人の13研究機関から構成される環境研究機関連絡会は、平成25年11月13日（水）、一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）において、第11回環境研究シンポジウムを開催し、各研究機関における環境研究の成果を広く国民にお知らせします。

今回のシンポジウムでは、『水圏・海洋を巡る環境研究の最前線』をテーマとして、10件の講演を行います。また、約100件のポスター発表によって、各研究機関における環境研究の最新の成果をお伝えします。

多数の皆様のご来場をお待ち申し上げております。

1. 日 時：平成25年11月13日（水） 12:00～17:45

2. 場 所：一橋大学一橋講堂(学術総合センター内)
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
TEL：03-4212-3900

3. プログラム：以下の3部構成（詳細はP3参照）
第1部：川上から川下までの水圏環境研究
第2部：沿岸域を中心とした水圏環境研究
第3部：グローバルな視点からの水圏環境研究

4. 参加費：無料

5. 参加登録：参加ご希望の方は、下記のウェブページから登録をお願いします。
： <https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>

6. 環境研究機関連絡会とは

今日発生している様々な環境問題を解決するためには、各専門領域にとどまることなく、これらを含めた総合的視点から、各専門分野の研究を推進する必要があります。また、環境研究に関する多様なニーズに応え、効果的、効率的な研究を推進していく

ため、新たな情報交換の場を設け、より一層、連携・協力を緊密にしていくことが不可欠となっています。

そこで、環境研究に携わる国立、独立行政法人及び国立大学法人の研究機関が情報交換し、環境研究の連携を緊密にするため、「環境研究機関連絡会」が平成 13 年に設置されました。

連絡会では、

- (1) 環境研究の推進状況の紹介と相互理解
- (2) 環境研究の主要成果の紹介
- (3) 環境研究の協力・連携・連絡

などを行っています。

7. 環境研究機関連絡会の参加機関（平成 25 年 10 月現在）

- ・独立行政法人防災科学技術研究所
- ・独立行政法人物質・材料研究機構
- ・独立行政法人農業環境技術研究所
- ・独立行政法人森林総合研究所
- ・独立行政法人水産総合研究センター
- ・独立行政法人産業技術総合研究所
- ・国土交通省気象庁気象研究所
- ・国土交通省国土技術政策総合研究所
- ・独立行政法人建築研究所
- ・独立行政法人港湾空港技術研究所
- ・独立行政法人土木研究所
- ・独立行政法人国立環境研究所
- ・国立大学法人筑波大学

8. お問い合わせ先：

【本プレスリリースについて】

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 担当：富田

〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地

TEL：029-864-2674 FAX：029-864-1527

【シンポジウムの詳細について】

独立行政法人水産総合研究センター 研究推進部 担当：長崎

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3 クィンズタワーB15F

TEL：045-227-2679 FAX：045-227-2704

9. 会場周辺地図：学術総合センター（神保町駅から徒歩3分、竹橋駅から徒歩4分）



10. プログラム

【講演】

13:00 開会挨拶 (独) 水産総合研究センター 理事長 松里 壽彦

(第1部：川上から川下までの水圏環境研究)

- 13:10 講演1 森林における物質の動態と下流への流出 (20分)
講演者：(独) 森林総合研究所 立地環境研究領域
チーム長 小林 政広
- 13:30 講演2 農地から水圏へ一窒素負荷流出研究の現状 (20分)
講演者：(独) 農業環境技術研究所 物質循環研究領域
主任研究員 板橋 直
- 13:50 講演3 河川汽水域の保全と再生 (20分)
講演者：国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室
主任研究官 中村 圭吾
- 14:10 講演4 水中の汚染物質の検出法の開発～ナノ材料と光を用いた高感度な検出法について～ (20分)
講演者：(独) 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点
ナノシステム構築ユニット ナノシステム光学グループ
グループリーダー 長尾 忠昭

(第2部：沿岸域を中心とした水圏環境研究)

- 14:30 講演5 海洋のリン循環に関する研究 (20分)
講演者：(独) 産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門
海洋環境評価研究グループ長 鈴木 昌弘

(休憩 15分)

- 15:05 講演6 漁場環境保全を目指した海洋研究のフロンティア (20分)
講演者：(独) 水産総合研究センター 研究推進部
研究開発コーディネーター 長崎 慶三
- 15:25 講演7 干潟・砂浜の生態地盤学 (20分)
講演者：(独) 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 動土質研究
チームリーダー 佐々 真志

(第3部：グローバルな視点からの水圏環境研究)

- 15:45 講演8 北極域環境研究最前線：北極がホットになるホットな話題 (20分)
講演者：国立大学法人筑波大学 生命環境系 教授 計算科学研究センター
地球環境研究部門長 田中 博
- 16:05 講演9 「もうひとつのCO₂問題」海洋酸性化と海の二酸化炭素観測 (20分)
講演者：国土交通省気象庁気象研究所 海洋・地球化学研究部 第三研究室
研究官 小杉 如央
- 16:25 講演10 サンゴ礁への気候変動の影響：地球温暖化と海洋酸性化 (20分)
講演者：(独) 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生物多様性保全計画研究室
室長 山野 博哉
- 16:45 閉会挨拶 (独) 防災科学技術研究所 理事長 岡田 義光

【ポスター発表】

- 展示時間 12:00 ～ 17:45
- 発表時間 12:00 ～ 12:45、17:00 ～ 17:45

1 1. その他

本プレスリリースのその他配付場所は以下の通り。

- ・筑波研究学園都市記者会
- ・環境省記者クラブ
- ・文部科学記者会
- ・科学記者会
- ・農政クラブ
- ・農林記者会
- ・農業技術クラブ
- ・林政記者クラブ
- ・水産庁記者クラブ
- ・経済産業記者会
- ・経済産業省新聞記者会ペンクラブ
- ・気象庁記者クラブ
- ・神奈川県庁記者クラブ